

[2023]九州大学情報統括本部年報 : 2023年度

<https://hdl.handle.net/2324/7234372>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2023, pp.1-, 2024-09-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :

第14章 研究データ管理用ストレージシステム 導入支援タスクフォース

研究データ管理用ストレージシステム（以下、「QRDM」という。）の運用開始に向けての準備作業において、データ駆動イノベーション推進本部研究データ管理支援部門（以下、「RDS 部門」という。）が開催する保守事業者との定例会や打合せに参加して、システムが利用する以下の情報基盤の整備に関して、助言や支援を行った。（QRDM は、2023 年 12 月に本格運用を開始した。）

（1）QRDM で利用される認証機能等の情報統括本部サービスの導入支援

全学共通認証機能やデータ提供に係る情報統括本部サービスの利用申請に当たり、情報統括本部から提供される機能やデータが QRDM で適切に管理・利用できるよう、認証基盤事業室と連携して、RDS 部門が行う保守事業者との調整を支援した。

（2）QRDM を接続するネットワークの安全で適正な利用

QRDM の運用テストの実施に当たり、システムが接続するネットワークについて、ネットワーク事業室と連携して通信量の負荷等による影響を調査し、ネットワークへの影響を踏まえた通信量の上限等について助言を行った。

（3）QRDM を構成するサーバ等のインフラの維持・管理

2024 年度以降の QRDM の保守契約に関して、本タスクフォースのメンバーが仕様策定委員会に委員として参加し、仕様書案の策定を支援した。

QRDM が本格運用を開始して以降、システムが利用する情報基盤において特段の障害や問題は確認されておらず、安定的に運用が行われている。このことから、本タスクフォースの設置目的は達成したと見え、2024 年 3 月末を以て本タスクフォースの活動を終了する。